

守られる高山の公文書 高山市公文書館がオープン



高山町役場文書から合併町村の永久保存文書や歴史的な文書などを保管した高山市公文書館の完成式が8月10日、清見町牧ヶ洞の同施設で行われ、関係者ら約30人が参加しました。

なお、開館を記念して、9月30日まで開館記念特別展を催し、公文書の展示や、各地域の伝統文化をまとめたDVDなどを紹介しています。月曜休館、入館料は無料です。

障がい者の雇用を促進 市総合福祉センターで辞令交付式



市が障がい者の雇用対策として今年度から始めた指定管理施設での障がい者雇用促進事業で、第1号となる市社会福祉協議会の雇用決定を受け、辞令交付式が8月19日、市総合福祉センターで行われました。

この事業は、障がい者の一般企業への就労を目的に、職業訓練を積む場として、市が指定管理者に賃金などを助成するもの。受入は市社会福祉協議会と市福祉サービス公社、飛驒の里などを受託するトータルプランニングオフィス飛驒の3事業者で9人の予定です。

健康づくりと交流の場 よって館天満オープン



高齢者の健康づくりと世代間交流の地域拠点施設「よって館天満」が9月1日にオープンし、地元住民ら約50人が参加しました。同施設は初田町、本町に続いて3軒目です。

よって館天満は、市社会福祉協議会が空き店舗を借り、市などの補助を受けて改修し、市の委託を受けて運営するもの。オープンでは同協議会の西永由典会長が「地元の方の憩いと交流の場として使ってもらいたい」と語りました。

支所地域の情報発信基地 アンテナショップオープン



支所地域の情報発信や特産品の販売を行う「飛驒高山アンテナショップ」が9月1日、本町にオープンし、関係者ら約40人が参加しました。

このアンテナショップは、市が空き店舗を賃借し、各地域の観光協会や商工会などで組織する協議会が運営するもの。オープンでは同協議会の青木勇会長が「周辺地域にも観光客が訪れることで滞在時間が増え、市全体の活性化など波及効果を期待したい」と語りました。

官民協働プロジェクト発表会



アンダーフォーティ-

U-40官民協働政策提言プロジェクト発表会

40歳以下の市民、高山青年会議所、市職員による政策提言発表会です。「住みたくなるまち、高山を目指して」をテーマに、3グループが4カ月間議論を重ねてまとめた提言を発表します。

どなたでも聴講できます(入場無料)。

- ◆日時 9月25日(土) 午後6時30分開場
午後7時～9時(予定)
- ◆場所 市役所地下市民ホール(花岡町2)

問合せ先

総務課(職員研修所)
☎35-3133